

夕テ科の植物



サクラタテ(桜蓼)



サクラタテ(桜蓼)



シロバナサクラタテ(白花桜蓼)



ミソソバ(溝蕎麦)



ヤナギタテ(柳蓼)



アキノウナギツカミ(秋の鰻掴み)

北川湿原は、夕テ科の植物が数多く生育しています。絶滅危惧種に指定されている希少種を含め、いつでも10種類以上は見るができます。花の色、葉の形などはさまざま。違いが分かってくると植物の多様性に驚かされます。花の時期は9月から10月。サテクサ、ナガバナウナギツカミ、サクラタテ、ミソソバの群落は、特にオススメです。



イヌタテ(犬蓼)



ボントクタテ(ほんとか=間抜け)



ホンバナウナギツカミ(細葉の鰻掴み)



イタドリ(虎杖、疼取)



イシミカワ(石実皮など)